

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITTO 日東工業株式会社

証券コード：6651

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

NITTO 日東工業株式会社

1

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

目次

2021年3月期
第2四半期

1 2021年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症の影響
- ・GIGAスクール構想への取り組み
- ・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画

5 参考資料

1 2021年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症の影響

- ・GIGAスクール構想への取り組み

- ・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画

5 参考資料

第2四半期 連結決算ハイライト

- ・ 2021年3月期 第2四半期業績は減収増益
- ・ 売上高は、コロナ禍の影響などにより減収となるも、期首計画を上回る
- ・ 5G関連やGIGAスクール構想案件の売上が好調に推移
- ・ 日東工業単体の変動費率改善や固定費減少、情報通信関連流通事業の売上増加が増益に寄与

(単位：百万円)

決算期	2020/3	2021/3			
	2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比 増減率	計画比 増減率
売上高	64,887	59,700	63,443	△2.2%	+6.3%
営業利益	5,072	2,600	5,078	+0.1%	+95.3%
経常利益	4,852	2,500	5,219	+7.6%	+108.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,124	1,300	3,255	+4.2%	+150.5%

連結事業内容（4つの事業セグメント）のご紹介①

電気と情報に関わる4つの事業を展開

工事・サービス事業

■ 情報通信ネットワーク、電気設備の設置、保守等の工事事業



情報通信関連流通事業

■ 情報通信機器および部材の仕入、販売等



配電盤関連製造事業

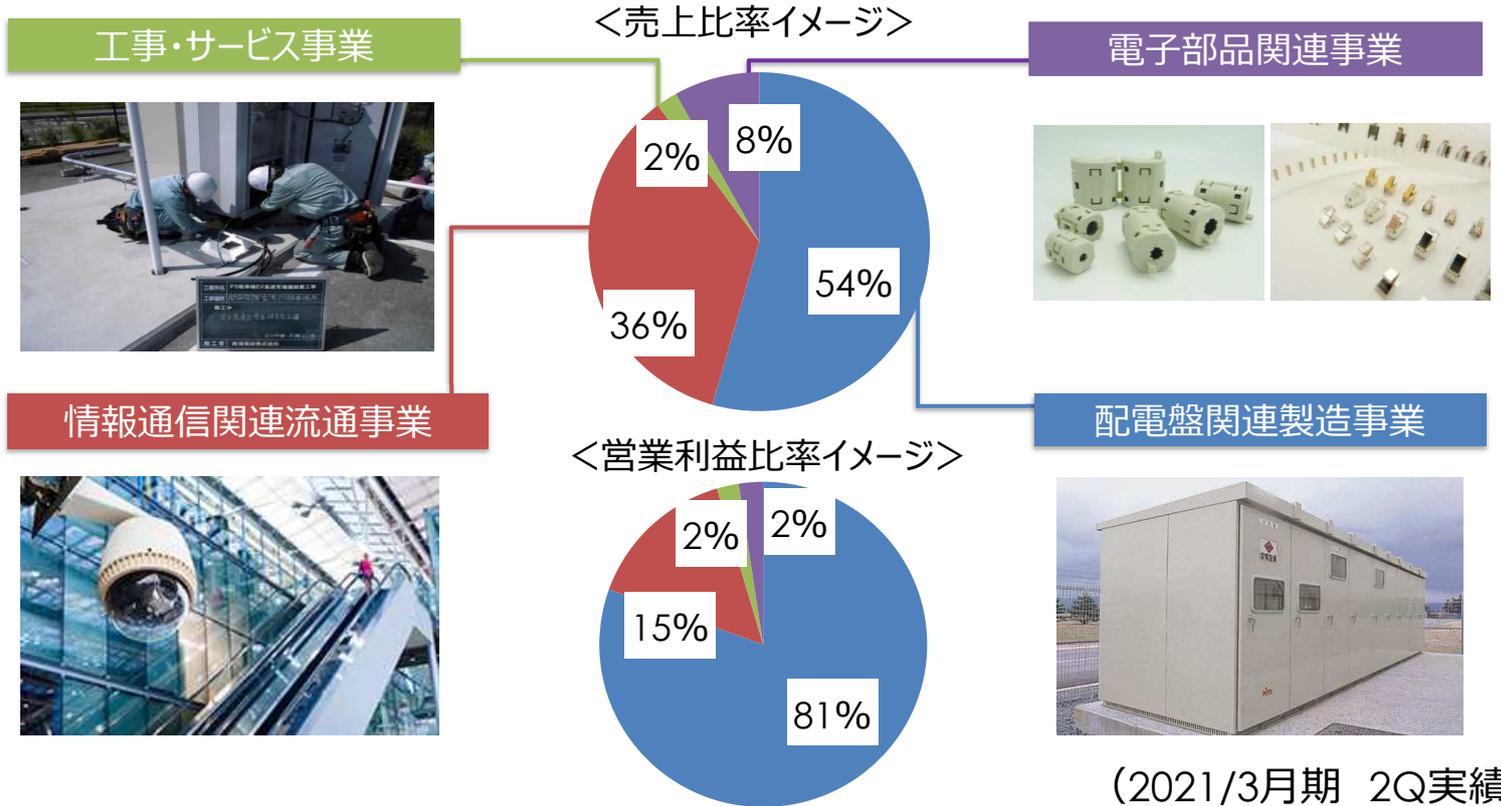
※コア事業

■ 配・分電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業



連結事業内容（4つの事業セグメント）のご紹介②

配電盤関連製造事業が売上の約5割、利益の約8割を占める



(2021/3月期 2Q実績)

第2四半期 セグメント別 決算ハイライト

- 配電盤関連製造事業は、5G関連の設備投資に伴い一部製品の売上増加。しかし、コロナ禍の影響による売上減少や前期計上の学校空調に関連した製品の売上剥落により減収。一方、市場価格の改善や人件費・経費等の減少により増益
- 情報通信関連流通事業は、5G関連やGIGAスクール構想案件、テレワーク商材の売上が好調に推移し増収増益
- 工事・サービス事業は、感染予防のためのオフィスレイアウト変更やテレワーク対応案件の売上が増加したほか、外部委託費が縮小したことなどにより増収増益
- 電子部品関連事業は、欧州向けの人工呼吸器に用いられるEMC対策製品の売上増加。しかし、国内外の自動車関連市場や海外の業務用エアコン、OA機器等に用いられる各種製品の売上減少により減収減益

セグメント別	2020/3	2021/3 (単位：百万円)				
	2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比増減率	計画比増減率	
売上高	配電盤関連製造事業	39,557	35,100	34,521	△12.7%	△1.6%
	情報通信関連流通事業	18,074	18,300	22,498	+24.5%	+22.9%
	工事・サービス事業	1,257	900	1,273	+1.2%	+41.4%
	電子部品関連事業	5,997	5,400	5,150	△14.1%	△4.6%
	合計	64,887	59,700	63,443	△2.2%	+6.3%
営業利益	配電盤関連製造事業	3,896	-	4,085	+4.8%	-
	情報通信関連流通事業	385	-	759	+97.0%	-
	工事・サービス事業	59	-	109	+84.1%	-
	電子部品関連事業	723	-	122	△83.1%	-
	合計	5,072	2,600	5,078	+0.1%	+95.3%

第2四半期 配電盤関連製造事業 (部門別売上高)

- コロナ禍の影響による売上減少や前年同四半期計上の学校空調に関連した製品の売上剥落により減収となったほか、内部売上消去が想定以上となったことから計画を下回る結果となる
- 5G関連の設備投資に伴い、配電盤部門やキャビネット部門の一部製品の売上増加
- 遮断器・開閉器部門は、海外子会社であるエレット（タイランド）のブレーカ等の売上増加

部門別 売上高		2020/3	2021/3 (単位：百万円)			
		2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比増減率	計画比増減率
製造事業 配電盤関連	配電盤	22,319	18,400	18,580	△16.7%	+1.0%
	キャビネット	11,420	11,200	10,397	△9.0%	△7.2%
	遮断器・開閉器	2,520	2,400	2,674	+6.1%	+11.4%
	パーツ・その他	3,297	3,100	2,869	△13.0%	△7.5%
合計		39,557 (1,974)	35,100	34,521 (3,666)	△12.7% (+85.7%)	△1.6%
連結全体合計		64,887	59,700	63,443	△2.2%	+6.3%
連結売上構成比		61.0%	58.8%	54.4%	△6.6%	△4.4%

※ () 内はセグメント間の内部売上高

第2四半期 連結営業利益の増減要因 (前年同期比)

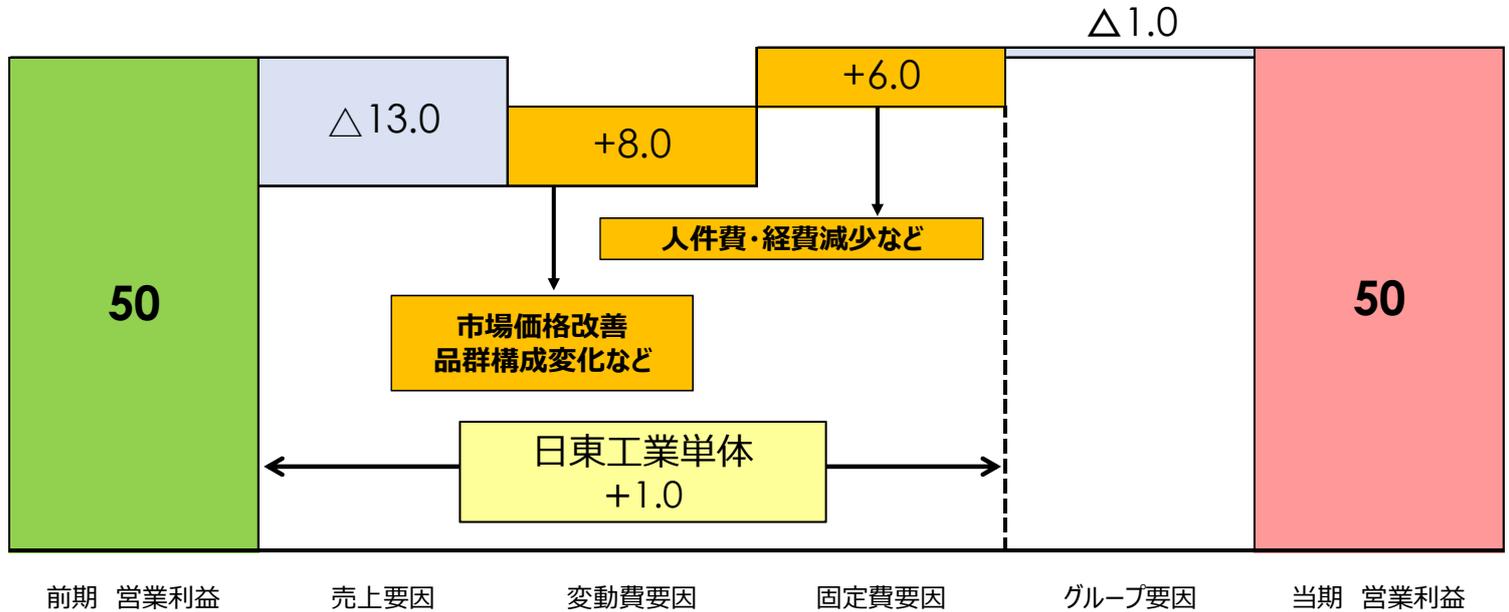
2021年3月期
第2四半期

- 日東工業単体要因では、売上減少により限界利益は減少するも、市場価格の改善（変動費要因）や人件費・経費等の減少により増益となる
- グループ要因では、サンテレホンや新愛知電機製作所が増益となるも、コロナ禍の影響により北川工業グループやその他子会社が減益となったことからグループ全体としては微減となる

(単位：億円)

【2020/3月期 2Q実績】

【2021/3月期 2Q実績】



第2四半期 連結営業利益の増減要因 (期首計画比)

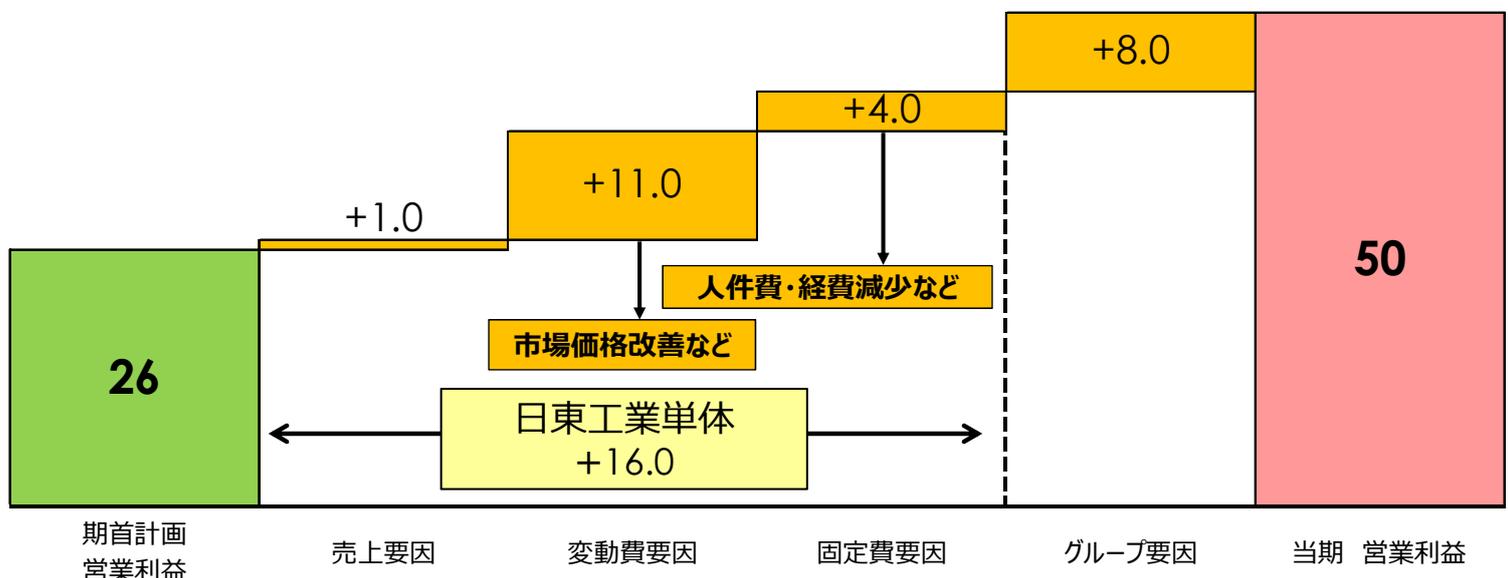
2021年3月期
第2四半期

- 日東工業単体要因では、コロナ禍の影響から市場価格が下落する（変動費要因）想定であったものの前年度末の水準を維持したことや人件費・経費等の減少が想定以上となったことなどが利益を押し上げる結果となる
- グループ要因では、サンテレホンや南海電設、新愛知電機製作所の増益が計画を上回る結果となる

(単位：億円)

【2021/3月期 2Q期首計画】

【2021/3月期 2Q実績】



第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2021年3月期
第2四半期

(単位：百万円)

2020/3 2Q	
現金及び現金同等物の期首残高	38,934
営業活動によるキャッシュフロー	5,929
投資活動によるキャッシュフロー	7,152
財務活動によるキャッシュフロー	△17,912
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△138
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	96
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,061

2021/3 2Q	
現金及び現金同等物の期首残高	29,620
営業活動によるキャッシュフロー	4,755
投資活動によるキャッシュフロー	△1,536
財務活動によるキャッシュフロー	△3,130
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△95
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,613

<2020/3 2Q 主な要因>

■ 投資活動によるCF	
・定期預金の払い戻しによる収入	5,204
・投資有価証券の売却及び償還	3,891
・固定資産の取得による支出	△1,628
■ 財務活動によるCF	
・北川工業完全子会社化のための支出	△10,582
・短期借入金の減少	△6,656

<2021/3 2Q 主な要因>

■ 投資活動によるCF	
・定期預金の払い戻しによる収入	836
・固定資産の取得による支出	△2,643
■ 財務活動によるCF	
・短期借入金の減少	△1,687
・配当金の支払額	△1,415

第2四半期 連結財政状態の概要

2021年3月期
第2四半期

・ 受取手形及び売掛金が減少したことにより総資産が減少しているものの、大きな変動無し

(単位：百万円)	資産合計	資産合計
	123,212	119,771
現金及び預金 30,353	流動資産 77,540	現金及び預金 30,225
有形固定資産 34,950 無形固定資産 4,540 投資 その他の資産 6,181		流動資産 75,545
	固定資産 45,672	固定資産 44,225
	2020/3 期末	2021/3 2Q実績

(単位：百万円)	負債純資産合計	負債純資産合計
	123,212	119,771
流動負債 29,716 固定負債 2,601	負債 32,317	流動負債 24,738 固定負債 2,389
株主資本 90,745 その他の 包括利益累計額 △115 非支配株主持分 265	純資産 90,895	株主資本 92,587 その他の 包括利益累計額 △171 非支配株主持分 227
	2020/3 期末	2021/3 2Q実績

<主な増減内容>

■ 資産	
・受取手形及び売掛金の減少	△4,220
・商品及び製品の増加	+1,429

■ 負債	
・短期借入金の減少	△1,691
・未払法人税等の減少	△1,289
■ 純資産	
・四半期純利益	+3,255
・剰余金の配当	△1,418

目次

1 2021年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症の影響

- ・GIGAスクール構想への取り組み

- ・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画

5 参考資料

新型コロナウイルス感染症の影響

【2021年3月期】

〈期首想定〉当第2四半期以降、経済活動の停滞が緩やかに回復



〈修正後想定〉当**第3四半期**以降、経済活動の停滞は横ばいで推移

部門	業績への影響が懸念される事項	影響度
配電盤関連製造事業 工事・サービス事業	<p>〈マイナス要因〉 民間非居住建築物棟数の減少や民間設備投資の腰折れ、ゼネコンの建設工事遅延など。ただし、過去のトレンドから、需要減の当業界への波及は半年前後遅れてくると想定している。</p>	大
情報通信関連 流通事業	<p>〈マイナス要因〉 データセンターやオフィス移転関連市場の停滞など</p> <p>〈プラス要因〉 テレワーク需要の高まり</p>	小
電子部品関連事業	<p>〈マイナス要因〉 自動車関連、工作機械、OA機器市場の停滞など</p>	中

GIGAスクール構想への取り組み

GIGAスクール構想に関連する製商品の拡販に努め、約100億円の売上獲得を目指す

- 文部科学省2020.3調査※より
- ・ 学校数：約33,000校
- ・ 教室数：約380,000室（小・中学校）

※令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果

売上のピークは
2021年3月期下期を想定

セグメント	ターゲット市場規模	売上目標
配電盤関連製造事業 情報通信関連流通事業	(当社想定) 約900億円	100億円

GIGAスクール構想で用いられる当社製商品（例）

機器収納キャビネット	タブレット保管庫	その他
		<ul style="list-style-type: none"> ・ LANケーブル ・ ネットワーク部材 etc

参考：＜GIGAスクール構想＞ 子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けた取り組み
～児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備～

5G（次世代移動通信システム）への取り組み

5G整備に必要な製商品の拡販に向け、積極的な営業活動を展開中

携帯電話基地局等で用いられる当社製商品（例）

＜全般＞
LANケーブル、ネットワーク部材等

屋外基地局



配・分電盤、キャビネット等

屋内（ビル等）



システムラック
配・分電盤
光接続箱等

2021年3月期 売上目標
約50億円

当期売上のピークは
2-3Qを想定

屋内（データセンター）



システムラック等

目次

1 2021年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症の影響

- ・GIGAスクール構想への取り組み

- ・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画

5 参考資料

通期 連結業績予想

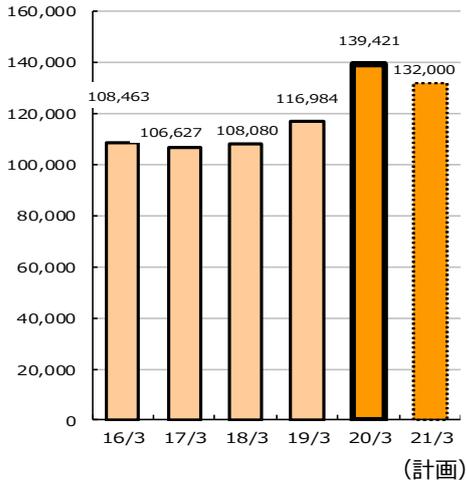
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の停滞が、第3四半期以降横ばいで推移という前提で試算
- ・ 通期連結業績は減収減益を計画、ただし期首計画は上方修正
- ・ 前期の特需案件であった学校空調に関連した製品の売上剥落もマイナス要因

決算期	2020/3		2021/3					
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前年同期比 増減率	通期計画 (修正前)	通期計画 (修正後)	前期比 増減率	修正前計画 比増減率
売上高	64,887	139,421	63,443	△2.2%	129,000	132,000	△5.3%	+2.3%
営業利益	5,072	12,402	5,078	+0.1%	7,700	9,600	△22.6%	+24.7%
経常利益	4,852	12,038	5,219	+7.6%	7,500	9,700	△19.4%	+29.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,124	8,048	3,255	+4.2%	4,700	6,200	△23.0%	+31.9%

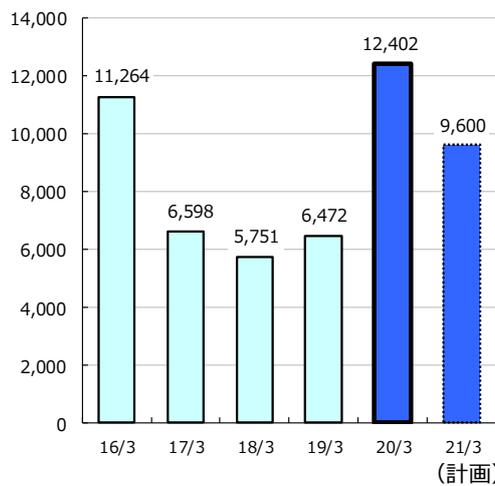
過去5年 連結経営成績

- 2021年3月期期首計画を上方修正
- 2021年3月期は、新型コロナウイルスの影響から減収減益を見込む

売上高

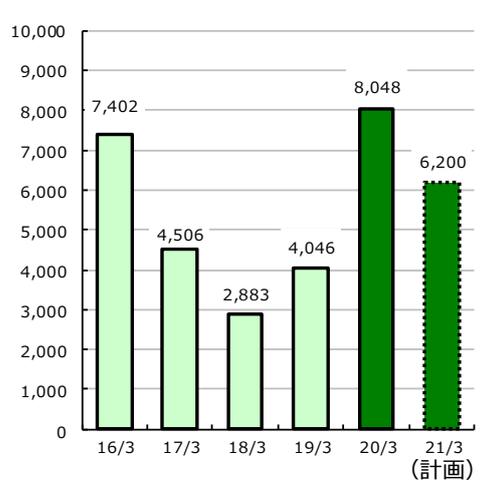


営業利益



当期純利益

(単位：百万円)

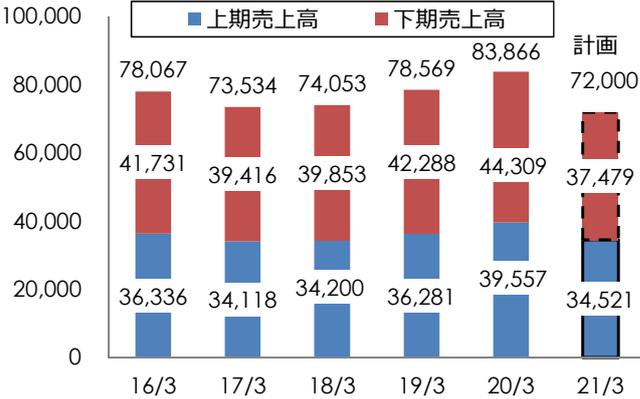


	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (計画)
売上高	108,463	106,627	108,080	116,984	139,421	132,000
営業利益	11,264	6,598	5,751	6,472	12,402	9,600
当期純利益	7,402	4,506	2,883	4,046	8,048	6,200

業績予想 セグメント別 (配電盤関連製造事業)

◆配電盤関連製造事業 【通期予想】売上高 72,000百万円 (前期比 △14.1%)

(単位：百万円)



【通期予想】

・新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の停滞や学校空調関連の特需剥落により減収を見込む

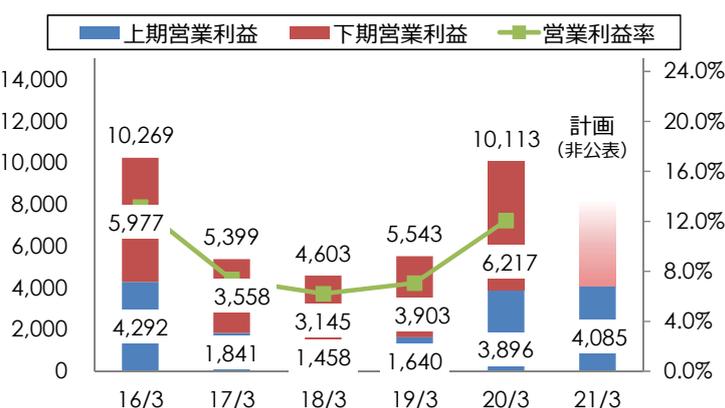
【取り組み】

- GIGAスクール構想や5G関連市場での製品提案活動
- Gathergates社の収益性を重視した営業活動や生産コスト削減、NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTDの工場建設

【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益影響度
国内	日東工業(株)	☔	☁	大
	(株)新愛知電機製作所	☔	☁	小
	(株)大洋電機製作所	☔	☔	小
	(株)E C A Dソリューションズ	☔	☔	小
海外	日東工業 (中国) 有限公司	☁	☁	小
	Gathergates Group Pte Ltd	☔	☔	小
	NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD	☔	☔	小

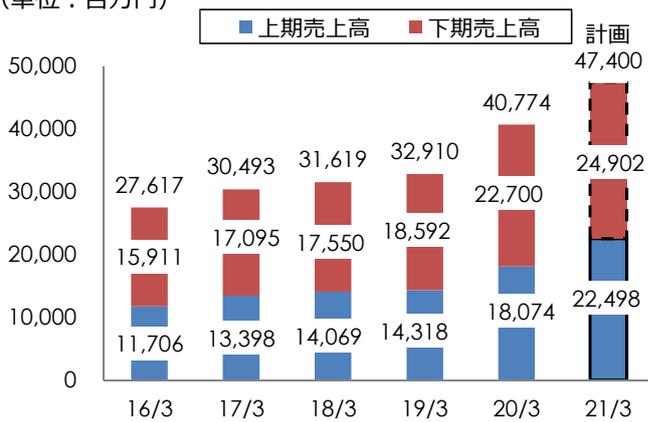
(単位：百万円)



業績予想 セグメント別 (情報通信関連流通事業)

◆情報通信関連流通事業 【通期予想】売上高 47,400百万円 (前期比 +16.3%)

(単位：百万円)



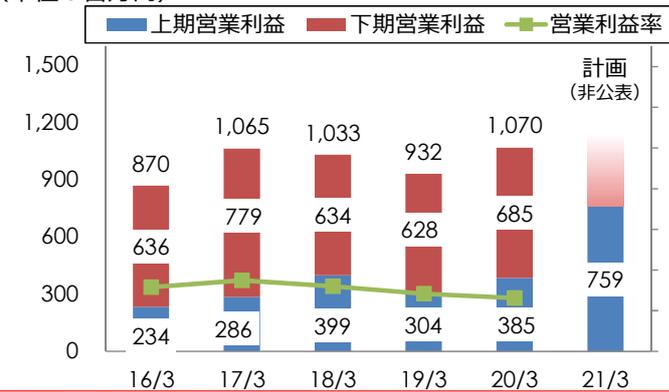
【通期予想】

- ・5G関連やGIGAスクール構想関連の売上増加のほか、テレワーク関連商材の売上増加により増収を見込む
- ・子会社化したベトナムのSOECOも増収に寄与

【取り組み】

- ・GIGAスクール構想に関連する案件獲得活動
- ・5G関連市場での案件獲得活動

(単位：百万円)



【主要グループ会社：通期見通し】

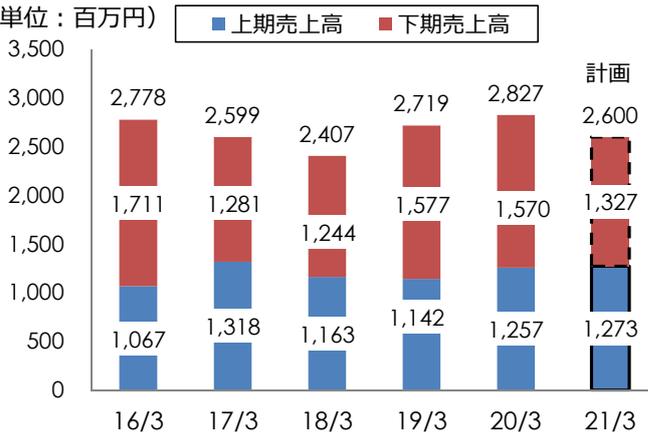
	会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益影響度
国内	サンテレホン(株)	☀️	☀️	中
海外	SOECO	—	—	小

※本セグメントは、サンテレホン(株)及びその子会社のみ
 ※2020年3月期に、サンテレホン(株)がSOECOを子会社化 (PL連結は2021年3月期より)

業績予想 セグメント別 (工事・サービス事業)

◆工事・サービス事業 【通期予想】売上高 2,600百万円 (前期比 △8.0%)

(単位：百万円)



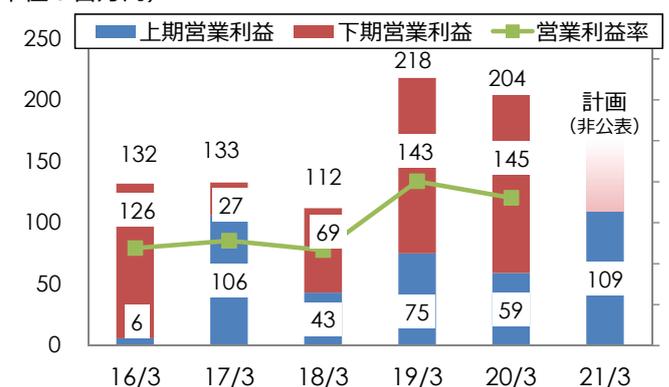
【通期予想】

- ・コロナ対策のためのレイアウト変更等、オフィス関連需要は伸長するも、オリンピック・パラリンピック延期や工事遅延等により減収を見込む

【取り組み】

- ・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力
- ・GIGAスクール構想に向けた取り組みや防災関連機器の保守・メンテナンス事業の推進、拡大

(単位：百万円)



【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益影響度
国内	南海電設(株)	☔️	☁️	小

※本セグメントは南海電設(株)のみ

2021年3月期
第2四半期

業績予想 セグメント別（電子部品関連事業）

◆電子部品関連事業 【通期予想】売上高 10,000百万円（前期比 △16.3%）

(単位：百万円)

期	前期売上高	下期売上高
16/3	5,150	-
17/3	-	-
18/3	-	-
19/3	5,997	2,785
20/3	5,997	5,957
21/3	5,150	4,850
計画	10,000	-

【通期予想】
・自動車関連市場の売上減少や好調であった業務用エアコンに関連した製品の売上減少などにより減収を見込む

【取り組み】
・EV・HV・PHEV等の環境自動車市場への電磁波対策部品を軸としたソリューション製品提案
・5G関連市場での事業拡大（通信基地局、WIFI製品）

(単位：百万円)

期	前期営業利益	下期営業利益	営業利益率
16/3	122	-	2.4%
17/3	-	-	-
18/3	-	-	-
19/3	723	(235)	12.2%
20/3	723	288	12.2%
21/3	723	1,011	20.2%
計画	1,222	-	12.2%

【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	北川工業(株)	☔	☁	中

※本セグメントは北川工業(株)およびその子会社のみ

NTO 日東工業株式会社

23

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

通期連結営業利益の増減要因（今期予想 前期比）

2021年3月期
第2四半期

- ・ 2021年3月期の連結営業利益は前期比22.6%減少の96億円を見込む
- ・ 全体では、コロナ禍の影響による売上減少が利益の押し下げ要因となる
- ・ 日東工業単体では、品群構成の変化（変動費要因）や残業時間の削減、展示会などへの出展自粛による固定費の減少が利益の押し上げ要因となる

(単位：億円)

【2020/3月期 実績】

【2021/3月期 修正後計画】

項目	金額 (億円)
実績 営業利益	124
売上要因	△39.0
変動費要因	+6.0
固定費要因	+14.0
グループ要因	△9.0
修正後計画 営業利益	96

日東工業単体 △19.0

人件費・経費減少など

NTO 日東工業株式会社

24

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

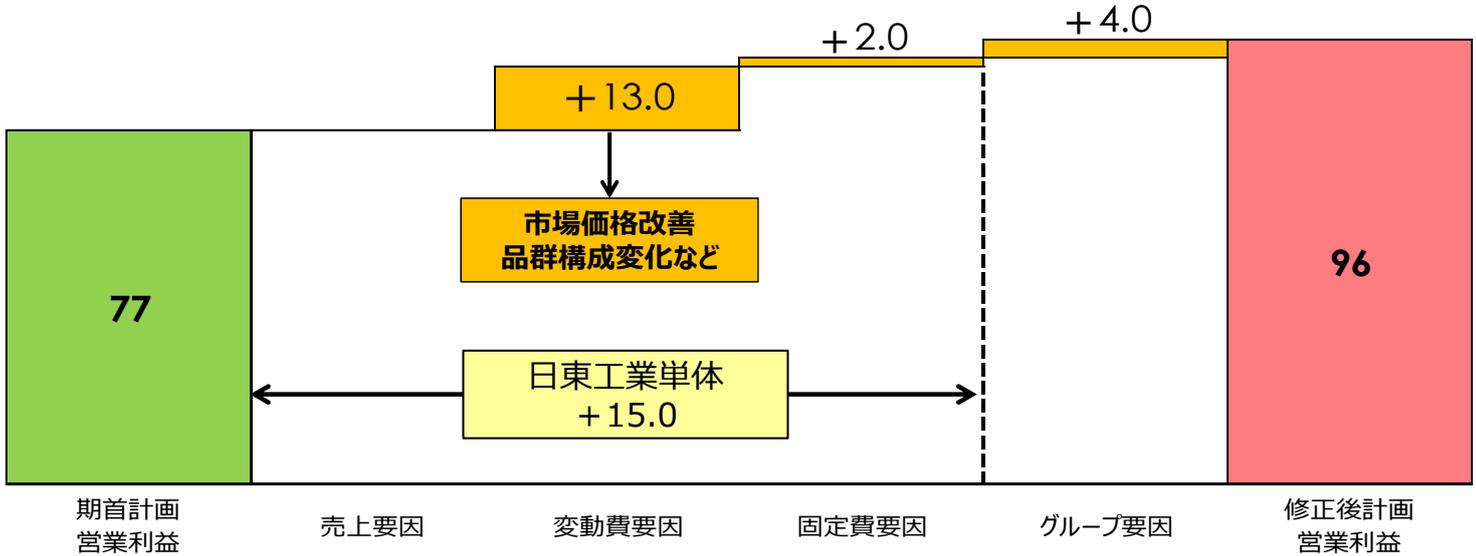
通期連結営業利益の増減要因 (今期予想 期首計画比)

- 2021年3月期の連結営業利益を期首計画比24.7%増加の96億円へ上方修正
- 日東工業単体では、市場価格の下落（変動費要因）を想定していたものの前期末の水準を一定程度維持していることや、品群構成の変化が増益に寄与することにより期首計画を上回る見込み
- グループ要因では、主に情報通信関連流通事業の増益が全体の利益を押し上げ、期首計画を上回る見込み

(単位：億円)

【2021/3月期 期首計画】

【2021/3月期 修正後計画】



通期連結営業利益の増減要因傾向

<日東工業単体>

- 売上要因** 売上増加が続いていたが、2021年3月期はコロナ禍の影響により売上減少に転じる見通し
- 変動費要因** 市場価格変動 … 2021年3月期は僅少なながら改善する見通し
- 固定費** 経費 … 展示会・内覧会の参加自粛などにより一時的に減少する見通し
人件費 … 売上減少に伴う残業時間の削減などにより一時的に減少する見通し

<グループ要因>

- 2021年3月期は、プラスマイナスあるもののグループ全体としてはコロナ禍の影響から売上減少により減益の見通し

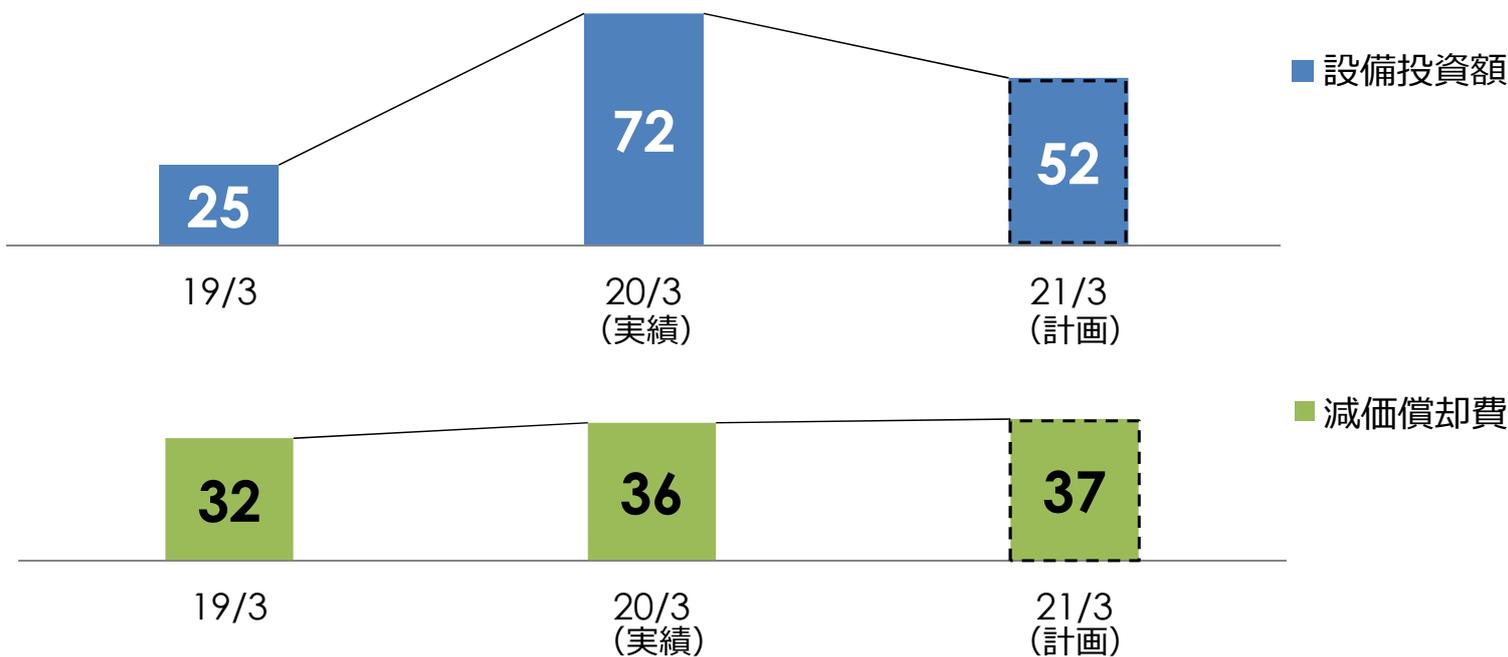
(単位：億円)

		2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 計画
営業利益		64	124	96
前期比増減額		+7	+60	△28
増減要因	日東工業単体	売上要因	↑	↑
		変動費要因	↑	↑
		固定費要因	↓	↓
	グループ要因	↓	↑	

設備投資額、減価償却費

- 2020年3月期は日東工業単体の新工場用地取得等により、設備投資額が増加
- 2021年3月期は、設備投資額52億円、減価償却費37億円を計画

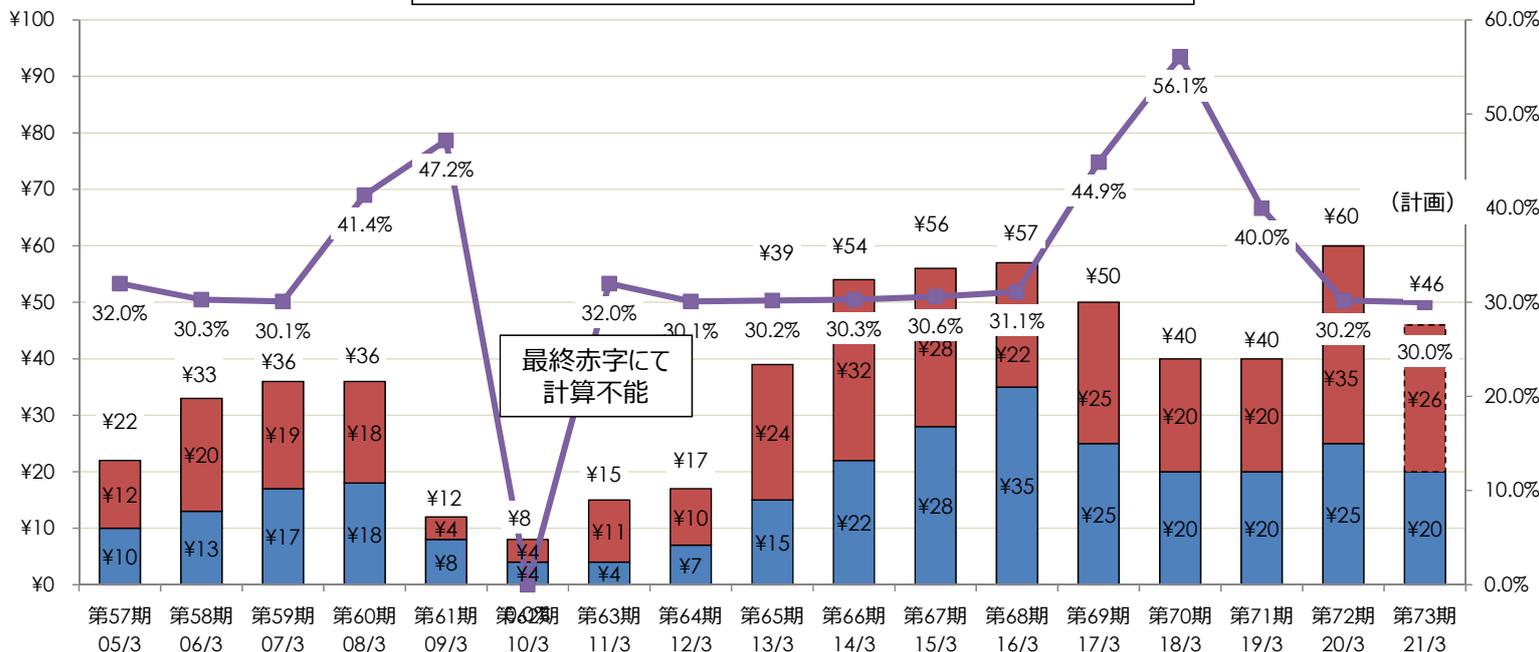
(単位：億円)



※1千万円単位を四捨五入しています

配当の状況

- 中間配当金は20円
- 通期配当金予想を40円→46円に増額
- 業績予想の上方修正を行ったことにより配当予想も引き上げ



目次

1 2021年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス

・新型コロナウイルス感染症の影響

・GIGAスクール構想への取り組み

・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画

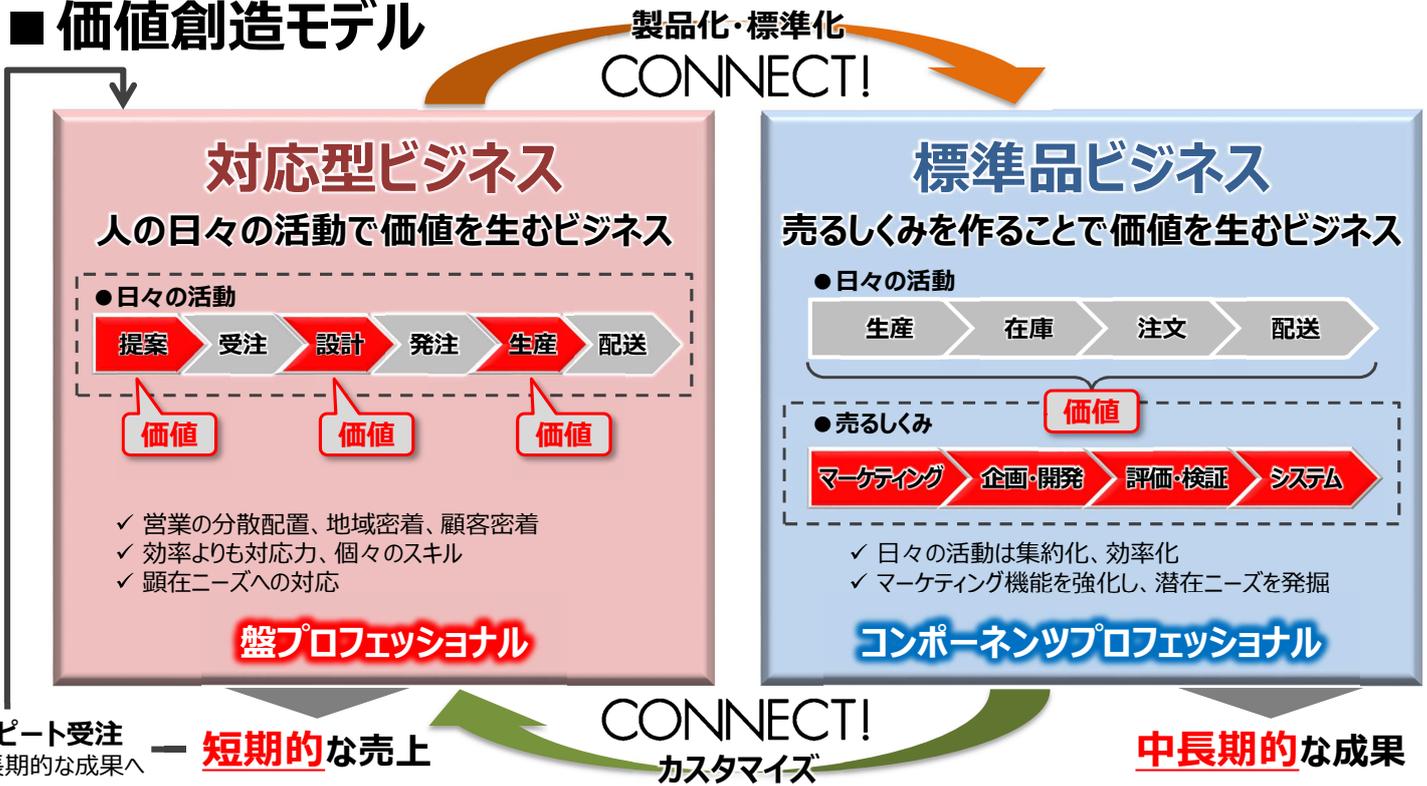
5 参考資料

2020中期経営計画 4か年計画

2020中期経営計画



■ 価値創造モデル



両ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続

2020中期経営計画 戦略テーマ

	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	1. コア事業競争力の追求（技術力、製品提案力強化）	
	I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	II 標準品ビジネス [コンポーネツプロフェッショナル]	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	2. グローバル化（東南アジアにおける配電盤事業の確立）	
	III 海外事業	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	3. 新規ビジネスの展開（新たな技術・企業との融合）	
基盤強化	IV 新規事業	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	4. 生産体制・経営基盤の強化	
	V 生産体制強化	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
VI 経営管理基盤強化	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する	

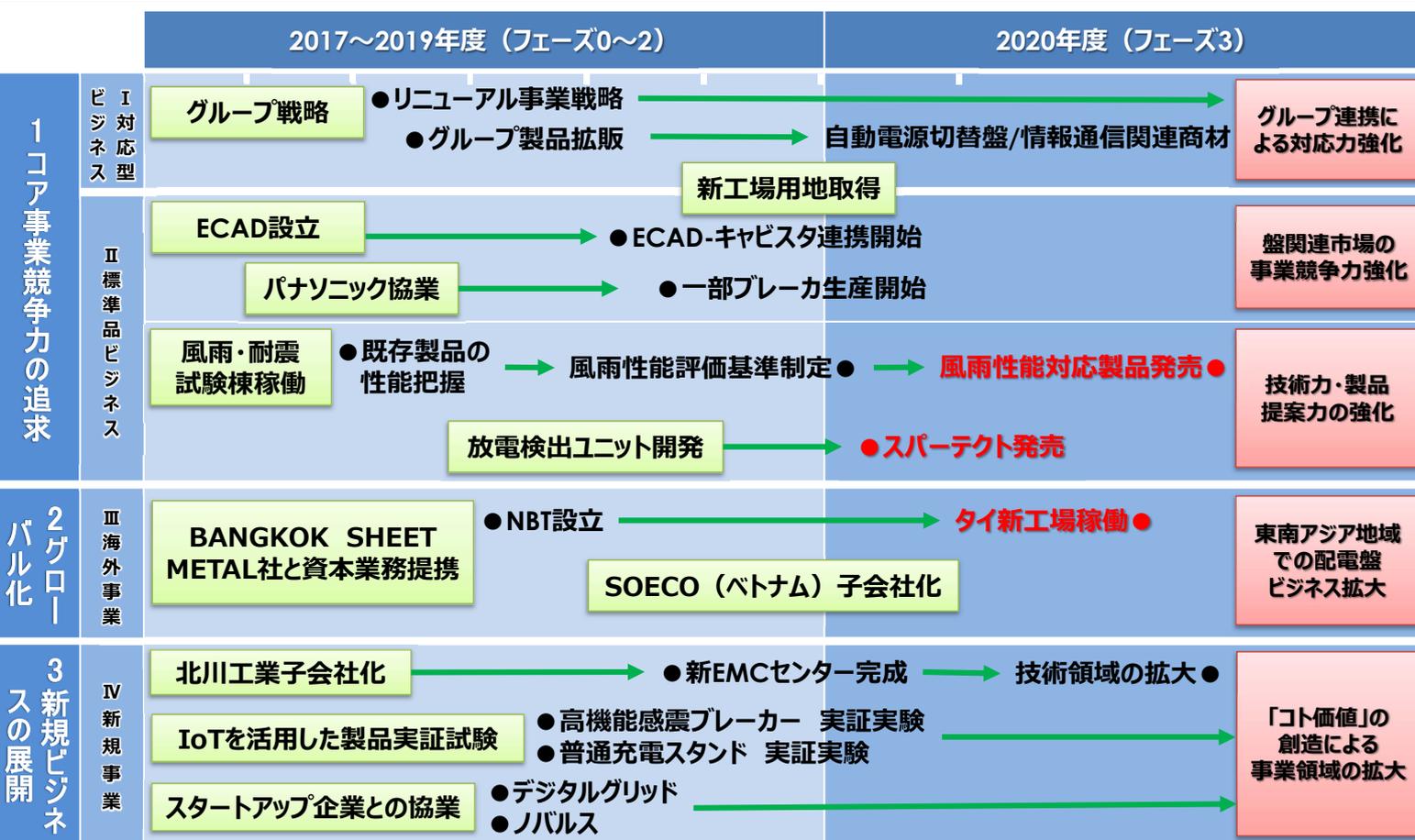
(単位：億円)

	2016年度 実績 (計画策定時)	2019年度 実績	2020年度 計画	2020年度 目標 (計画策定時)
連結売上	1,066	1,394	1,320	1,250
(内 単体売上)	674	796	715	750
対応型ビジネス	465.5	551.5	485.0	470.0
標準品ビジネス	207.0	243.2	227.0	240.0
新規事業	1.5	1.3	3.0	40.0
(内 情報通信関連流通事業)	(305)	(407)	(474)	(350)
(内 海外事業)	(40)	(94)	(96)	(70)
連結営業利益	65	124	96	100
(内 単体営業利益)	50	94	75	75

- ・2019年度に中期経営計画の当初目標を達成 (※「新規事業」を除く)
- ・2020年10月26日、2020年度計画を上方修正
- ・2020年度計画は、当第3四半期以降、経済活動の停滞が横ばいで推移することを前提とし試算

事業戦略の進捗状況 (1/7)

2021年3月期
第2四半期



<今期の重点戦略>

コア事業 / I 対応型ビジネス

グループ会社連携による案件対応力を強化
それぞれの強みを生かした対応領域拡大と受注強化

- ・リニューアル事業戦略の進展
- ・制御盤事業戦略の進展

コア事業 / II 標準品ビジネス

技術力・製品提案力の強化
盤関連市場でお客様のニーズに合わせた製品・サービスを提供することで競争力を強化

- ・WEBツール (Q B 自動作図システム) リリース
- ・風雨性能新規格の浸透と対応商品拡大

III 海外事業

東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大
事業基盤を早期に確立

- ・NBT新工場での製販一貫体制を確立し、タイ市場での事業拡大及び収益力強化
- ・インフラ産業市場への参入によるビジネス拡大

IV 新規事業

「コト価値」の創造による事業領域の拡大
中長期での事業化を目指し「コト価値」創造の取組にチャレンジを続ける

- ・感震、EV充電器などの実証実験の進展
- ・スタートアップ企業への出資

事業戦略の進捗状況 (3/7)

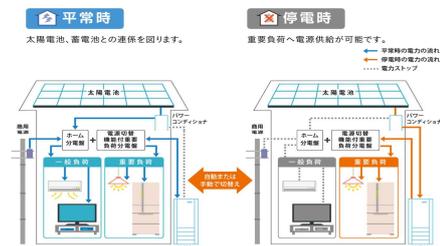
事業戦略

コア事業 / I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]

ビジョン：盤関連事業の対応力をきわめ、頼られるベストパートナーを目指す

盤関連市場の事業力競争力強化

- | | |
|----------------|---|
| フェーズ
0~2 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ グループ会社の得意領域・ノウハウを活かした戦略を策定 ◆ グループ会社の得意領域を生かした案件受注 ◆ 具体的な戦略を実践することで事業領域拡大 |
| フェーズ3
今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ グループ全体で戦略を実行し、対応力強化、対応領域を拡大する ・ 新愛知の切替技術を生かした、住宅用蓄電システム向け電源切替盤の拡販 ・ G I G Aスクール、テレワークの対応商材の拡販 ◆ リニューアル事業戦略はコロナウィルスにより活動を自粛していたが、活動再開 |



自動電源切替盤
(家庭用太陽電池・蓄電池設備連携)



HUB収納キャビネット
(GIGAスクール構想・テレワーク対応)

事業戦略

コア事業/Ⅱ 標準品ビジネス① [コンポーネントプロフェッショナル]

ビジョン：産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

	盤関連市場の事業力競争力強化
フェーズ0~2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ECADソリューションズ設立 ◆ パナソニックとの協業検討開始 ◆ ECAD-キャビスタ連携開始 ◆ パナソニックの一部ブレーカ生産開始 ◆ ホーム分電盤モデルチェンジ ◆ 瀬戸市に新工場用地を取得
フェーズ3 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◆ パナソニックとの協業の進展を検討 ◆ WEBを活用した利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ ECAD-キャビスタ連携システムにユーザーの利便性を取り入れたバージョンアップ ・ 高圧受電設備の図面作成システム「QBSTA」リリース

【瀬戸工場概要※予定】

所在地：愛知県瀬戸市八床町22番の4

敷地面積：250,077㎡

延床面積：工場棟36,000㎡ 事務棟3階建て4,000㎡

生產品目：キャビネット・高圧受電設備・分電盤
ブレーカなど

投資総額：約200億円

資金計画：自己資金及び借入金等により充当

日程：建物竣工 2023年12月

生産開始 2024年4月

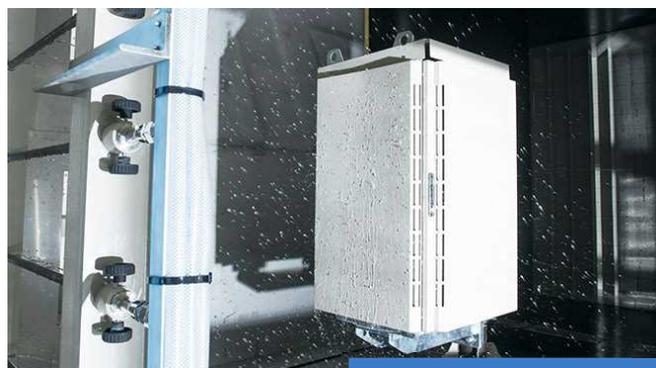


事業戦略

コア事業/Ⅱ 標準品ビジネス② [コンポーネントプロフェッショナル]

ビジョン：産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

	技術力・製品提案力の強化
フェーズ0~2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「風雨・耐震試験棟」本格稼働 ◆ 北川工業新EMCセンター完成 ◆ 放電検出ユニット開発
フェーズ3 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 風雨性能新規格の浸透と対応商品拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外キャビネットの風雨性能評価を実施し、対応商品にWP表示を追加 ◆ 放電検出ユニット「スパテクト」商品化



風雨性能評価試験
(菊川ラボラトリー)



放電検出ユニット

Spartect



事業戦略

Ⅲ 海外事業

ビジョン：海外で活躍する産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大	
フェーズ 0～2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ NITTO KOGYO BM (THAILAND) 設立 (NBT社) ◆ 北川工業の子会社化 ◆ NBT社タイに新工場の建設着手 ◆ サンテレホン ベトナムSOECOを子会社化
フェーズ3 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◆ NBT工場稼働 ・ 製販一貫体制を確立し、「コスト競争力」「納期対応力」「品質」をより高め、事業拡大および収益力強化を図る



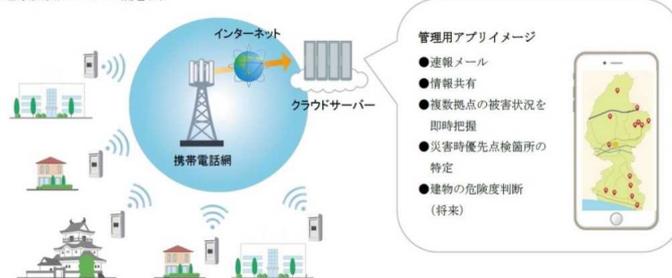
事業戦略

Ⅳ 新規事業

ビジョン：失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する

「コト価値」の創造による事業領域の拡大	
フェーズ 0～2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 普通充電器・高機能感震ブレーカーでIoTを活用した製品実証実験開始 ◆ スタートアップ企業「デジタルグリッド」への出資 ◆ スタートアップ企業「ノバルス」と資本業務提携 ◆ 家庭向けEV・PHV充電器Pit-C3発売
フェーズ3 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実証実験の進展 ・ 現在取り組んでいるIoT関連やスタートアップ企業と協業している技術の事業化を目指す

■地域防災システム概念図



ご清聴ありがとうございました

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO 日東工業株式会社

証券コード：6651



目次

1 2021年3月期 第2四半期決算概要

2 トピックス

・新型コロナウイルス感染症の影響

・GIGAスクール構想への取り組み

・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

3 通期連結業績予想

4 中期経営計画

5 参考資料

事業セグメント：配電盤関連製造事業

■分・配電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業

日東工業株式会社	配・分電盤、キャビネット等の製造、販売
主要グループ会社	主要製品・事業内容
株式会社新愛知電機製作所	電気用諸機械器具の設計、製造、販売、修理等
株式会社大洋電機製作所	産業機械用制御システム、ソフトウェア等の製造、販売
株式会社E C A Dソリューションズ	電気設計、ハーネス設計専用C A Dシステムの開発、販売
日東工業（中国）有限公司	キャビネット・パーツ類等の製造、販売
Gathergates Group Pte Ltd	配・分電盤、制御盤、メーターボックス製造、販売
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD	当社製品の輸入品販売および現地生産品販売、日本・海外企業製品の仕入販売

配電盤



高圧受電設備



分・配電盤



ブレーカ



パーツ・その他



パーツ



充電スタンド

キャビネット



キャビネット



システムラック

事業セグメント：情報通信関連流通事業

■情報通信機器および部材の仕入、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
サンテレホン株式会社	情報通信機器の仕入、販売
SOECO	オフィス・セキュリティー機器の仕入、販売



ネットワークカメラ

それぞれのシステムに合わせた最適な監視システム機器の仕入、販売



高速ネットワーク機器

無線・有線を効率的に使い分けた通信インフラの構築機器の仕入、販売



情報セキュリティ関連製品

様々な情報リスクに対して対策を講じる、トータルセキュリティ機器の仕入、販売

事業セグメント：工事・サービス事業

■電気設備、ネットワークシステムの設置、保守等の工事業

主要グループ会社	主要製品・事業内容
南海電設株式会社	情報通信ネットワーク、電気設備の設置、保守等の工事業

情報通信ネットワーク事業



電話設備、放送設備、セキュリティ設備、LAN配線などの通信設備工事



その他

- EV・PHEV用充電スタンドの保守・メンテナンス
- 緊急地震速報設備の設置、配信サービス、メンテナンス

など

電気設備事業



受電設備、計装設備、照明設備、電源コンセント、空調設備等の電気設備工事

事業セグメント：電子部品関連事業

■電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
北川工業株式会社	電磁波環境コンポーネント、精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売

電磁波環境コンポーネント

電磁波による電子機器の誤作動防止などを目的とする電子部品の製造、販売

【フェライトコア】



【ケーブルシールド】



精密エンジニアリングコンポーネント

プラスチックファスナー等の各種機器機構部品や生産性向上に貢献する熱・振動・衝撃・騒音への対策部品等の製造、販売

【クランプ】



【バンド】



2021年3月期
第2四半期

連結売上高の推移（四半期）

(単位：百万円)

売上高 営業利益率

四半期	売上高 (百万円)	営業利益率 (%)
2017/1Q	23,473	2%
2017/2Q	25,362	7%
2017/3Q	27,491	8%
2017/4Q	30,301	7%
2018/1Q	22,875	2%
2018/2Q	26,558	5%
2018/3Q	28,569	7%
2018/4Q	30,078	6%
2019/1Q	24,311	2%
2019/2Q	27,431	5%
2019/3Q	31,110	9%
2019/4Q	34,132	5%
2020/1Q	29,992	6%
2020/2Q	34,895	9%
2020/3Q	36,973	12%
2020/4Q	37,561	8%
2021/1Q	29,454	7%
2021/2Q	33,989	9%

NTO 日東工業株式会社

47

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

セグメント別 売上高の推移（四半期）

2021年3月期
第2四半期

配電盤関連製造事業 情報通信関連事業 工事・サービス事業 電子部品関連事業

(単位：百万円)

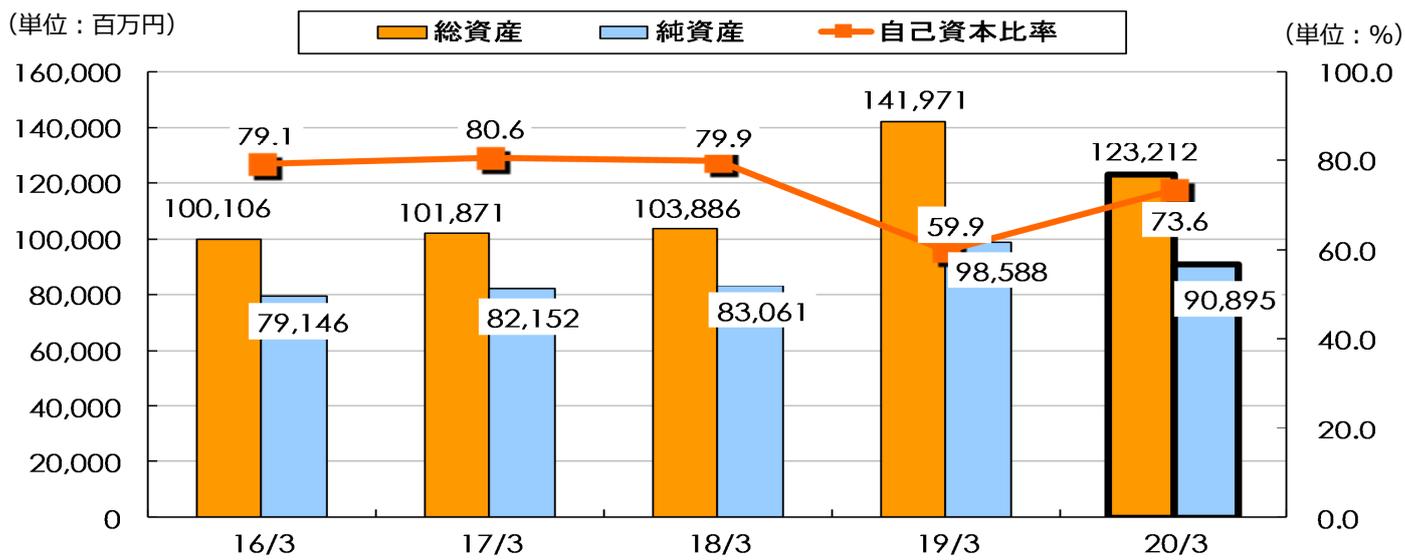
四半期	配電盤関連製造事業	情報通信関連事業	工事・サービス事業	電子部品関連事業
2017/1Q	16,501	6,384	588	
2017/2Q	17,617	7,014	730	
2017/3Q	19,362	7,500	629	
2017/4Q	20,054	9,595	652	
2018/1Q	16,211	6,137	526	
2018/2Q	17,989	7,932	637	
2018/3Q	19,706	8,307	556	
2018/4Q	20,147	9,243	688	
2019/1Q	17,198	6,581	530	
2019/2Q	19,083	7,737	612	
2019/3Q	21,778	8,676	656	
2019/4Q	20,510	9,916	921	2,785
2020/1Q	18,883	7,488		600
2020/2Q	20,674	10,586		657
2020/3Q	22,584	10,738		3,005
2020/4Q	21,275	11,962		2,952
2021/1Q	17,070	9,115		675
2021/2Q	17,451	13,383		2,593
2021/3Q				2,557
2021/4Q				598

NTO 日東工業株式会社

48

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

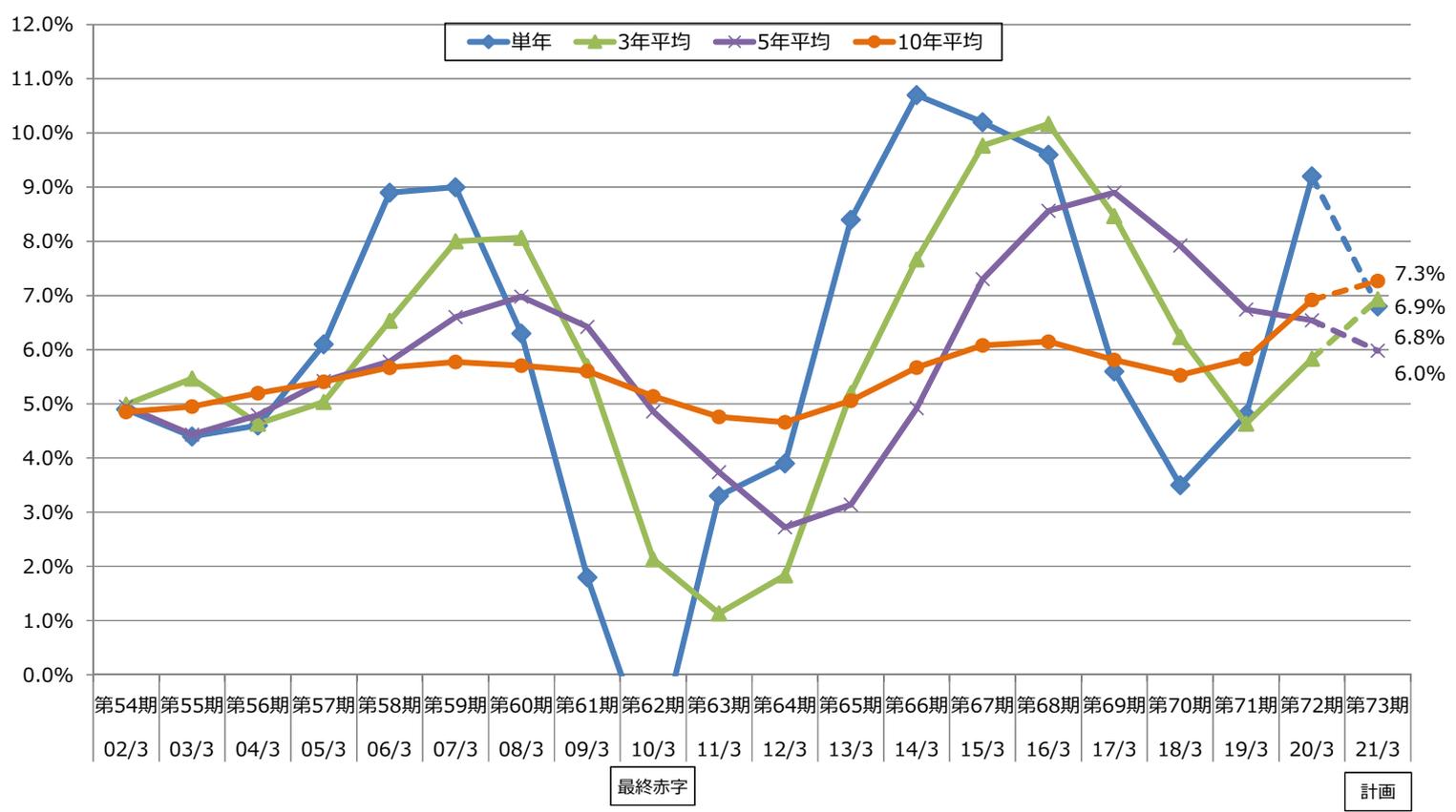
総資産・純資産・自己資本比率



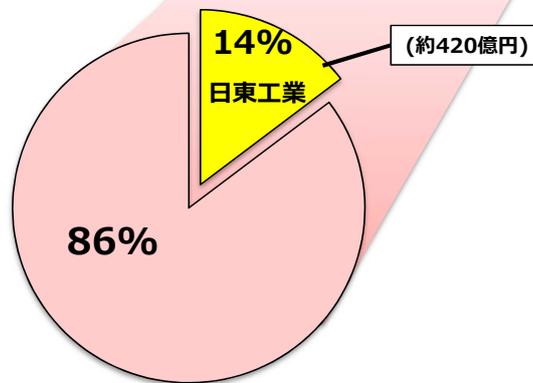
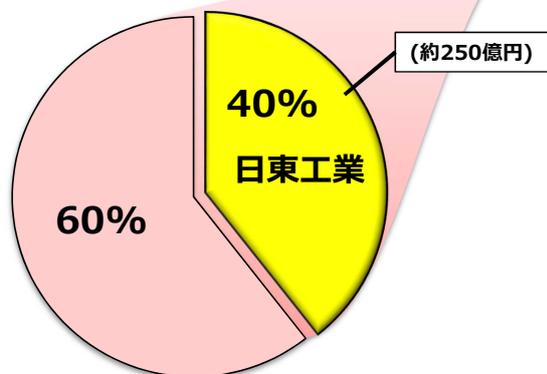
(単位：百万円)

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
総資産	100,106	101,871	103,886	141,971	123,212
純資産	79,146	82,152	83,061	98,588	90,895
自己資本比率	79.1%	80.6%	79.9%	59.9%	73.6%

ROE (自己資本当期純利益率) の推移 (連結)



標準品市場でキャビネットはシェアNo.1！配電盤はシェアNo.2！（※）

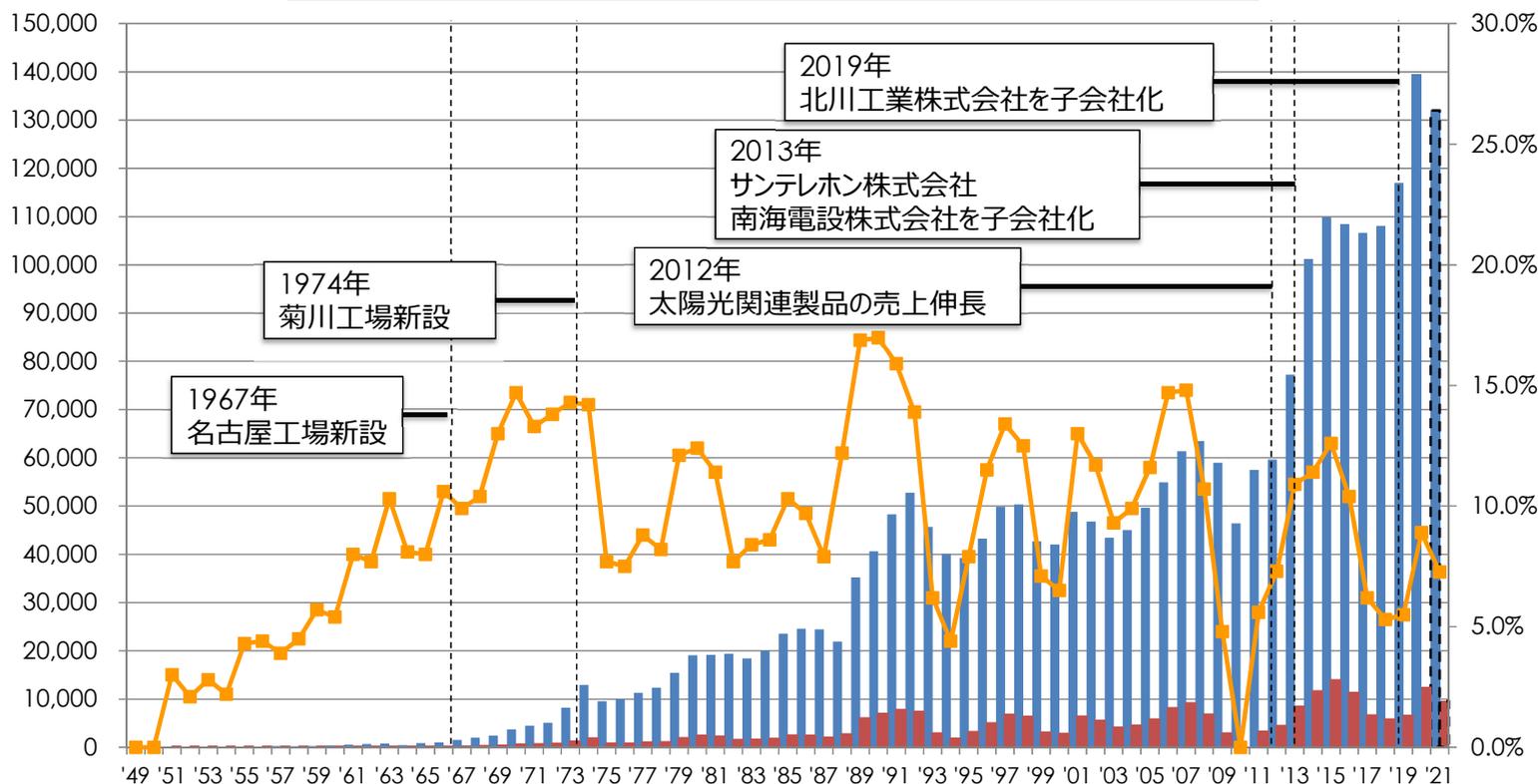
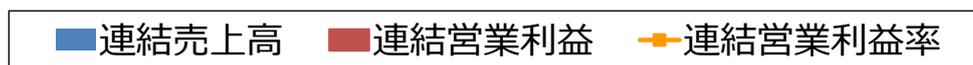


※キャビネット市場にシステムラック、配電盤市場に光接続箱を含む

	カスタム品	標準品
生産方式	受注生産	計画生産
納期	長期	短期
コスト	高	低

業績推移 設立～現在

(単位：百万円)



2021年3月期
第2四半期

業績推移 2006/3月期～現在

■ 連結売上高 ■ 連結営業利益率

(単位: 百万円) (単位: %)

日東標準品 価格改定(値上げ)

リーマンショック

最終赤字

固定価格買取制度

南海電設(株)4Qより連結

サンテレホン(株)4Qより連結

Gathergates社連結

新愛知電機製作所完全子会社化

株ECADEソリューションズ 3Qより連結

株大津電機製作所2Qより連結

日東標準品 価格改定(値上げ)

北川工業(株)を4Qより連結

期	連結売上高 (百万円)	連結営業利益率 (%)
06/3	55,000	14.5
07/3	60,000	14.5
08/3	62,000	10.5
09/3	58,000	5.5
10/3	45,000	0.0
11/3	58,000	5.5
12/3	58,000	7.5
13/3	78,000	10.5
14/3	100,000	11.0
15/3	108,000	12.5
16/3	105,000	10.5
17/3	105,000	6.5
18/3	108,000	5.5
19/3	115,000	5.5
20/3	140,000	8.5

NTO 日東工業株式会社

53

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

2021年3月期
第2四半期

事業セグメント別 売上高構成比

■ 配電盤関連製造事業 ■ 情報通信関連流通事業 ■ 工事・サービス事業 ■ 電子部品関連事業

期	配電盤関連製造事業 (%)	情報通信関連流通事業 (%)	工事・サービス事業 (%)	電子部品関連事業 (%)
12/3	100.0	0.0	0.0	0.0
13/3	91.5	7.0	0.5	0.0
14/3	73.7	24.0	2.3	0.0
15/3	73.8	23.7	2.5	0.0
16/3	72.0	25.5	2.5	0.0
17/3	69.0	28.6	2.4	0.0
18/3	68.5	29.3	2.2	0.0
19/3	67.2	28.1	2.3	2.4
20/3	60.2	29.2	2.0	8.6
21/3	54.4	35.5	2.0	8.1

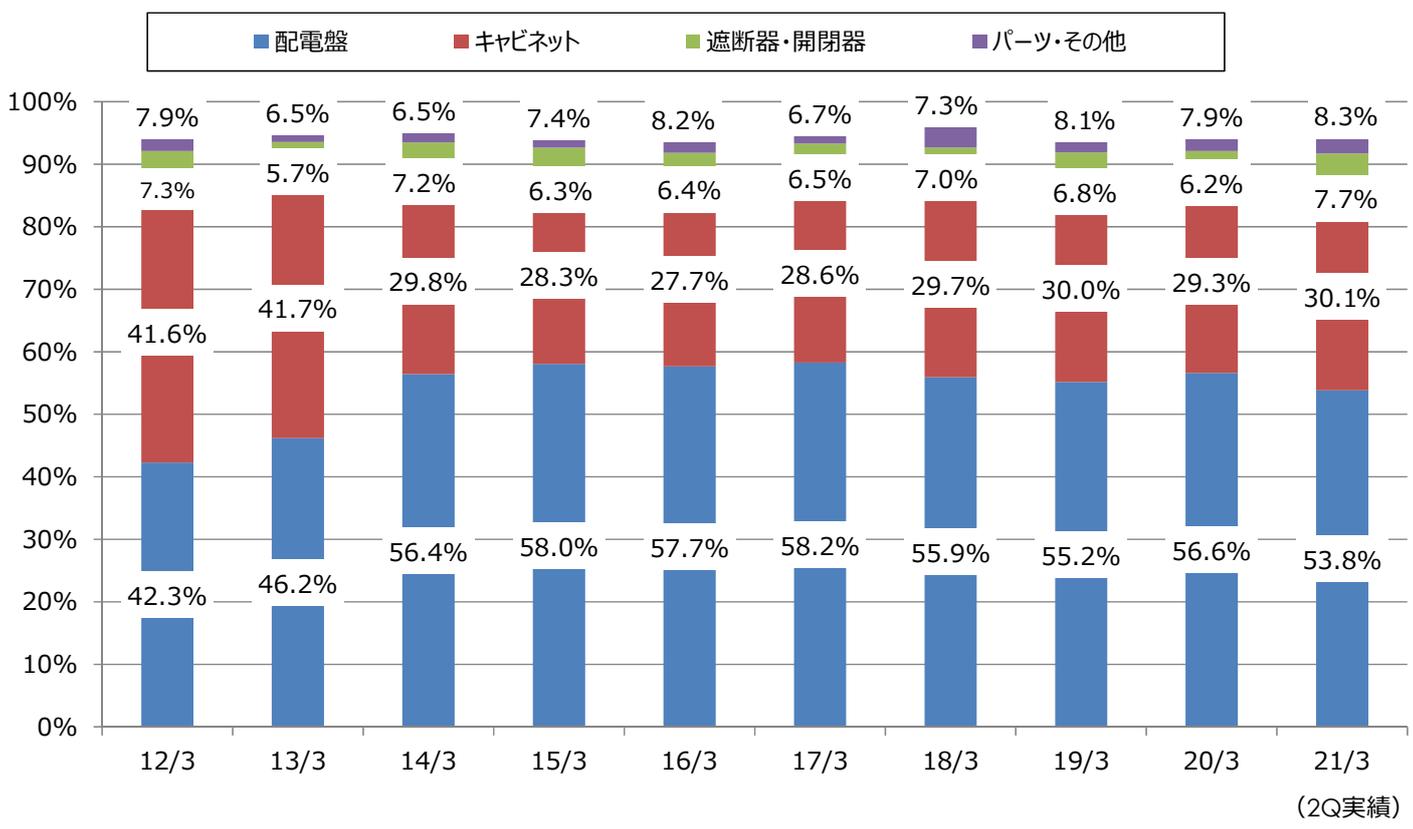
(2Q実績)

NTO 日東工業株式会社

54

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

配電盤関連製造事業（部門別売上高構成比率）



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

電気自動車（EV・PHEV）用充電器シリーズ

電気自動車用充電スタンド

急速充電
(当社非対応)

普通充電

日東工業の事業領域

【パブリック用】

【ご家庭・プライベート用】

EVC2

Pit

EVR

Pit-C3

